

お知らせページ

福祉倶楽部 14 周年記念集会

「格差社会とたたかう」

日時：11月17日(土) 13:00～17:00
 会場：初台区民会館
 講師：後藤 道夫 さん(都留文科大学)
 申し込み：福祉倶楽部 3370-3352

認知症を抱えた方へのアンケート調査検討会
 (兼「ヘルパーと認知症のワーキンググループ」定例学習会)

日時：12月15日(土) 13:30～
 会場：千代田区男女共同参画センター
 「MIW」ミーティングルーム
 参加費：資料代を当日集めます。
 申し込み：FAXにて
 菅野 3624-3082
 辻川 3753-4345

アジア女性資料センター主催の学習会

「ホームヘルパーの抱えるジェンダー課題」

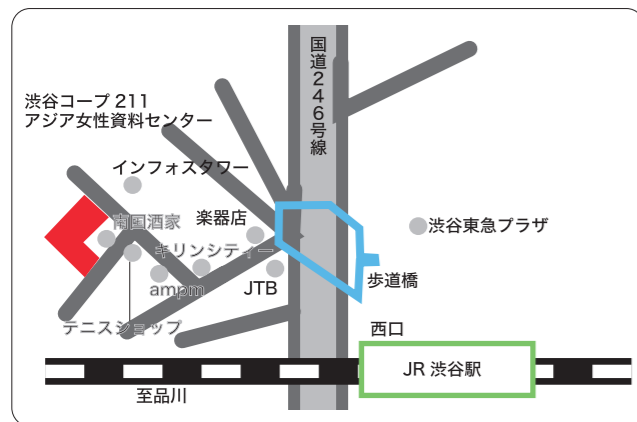
「介護の社会化」をスローガンに成立したはずの介護保険制度。しかし、現場の介護労働の担い手の多くは依然として女性が占めており、ジェンダー特有の課題は形を変えて存在しています。シングルマザーの日米比較など、社会福祉をフェミニズムの視点から研究しておられる杉本貴代栄さんに、最近の研究成果をうかがいながら、介護労働をジェンダー視点で考えます。

日時：11月17日(土) 14:00～16:30
 会場：アジア女性資料センター(地図下)
 参加費：1000円
 講師：杉本 貴代栄 さん(金城学院大学教授)

「ケアの質とは何か?介護福祉の担い手として」

介護サービスの民営化のときによく聞かれた言葉が「市場競争は介護の質を高める」でした。でも「介護の質」とは何?それをどう評価するの?NPOとして地域に根ざした介護を追求してきた高橋さんと考えます。

日時：12月14日(金) 19:00～21:00
 会場：アジア女性資料センター(地図下)
 参加費：1000円
 講師：高橋 道子 さん(介護福祉士)



1 月例会のお知らせ

「世界のヘルパーさんと出会う旅」
 パート 6 の報告会

日時：2008年1月12日(土) 18:30～20:30
 会場：南部労政会館(JR大崎駅下車3分)
 参加費：500円
 申し込み：FAX(03-3787-3117)にて
 イタリア・ローマ市の1000時間研修やドイツ介護保険の下で働くヘルパーの労働環境について現地調査の報告会。



地域ケア「こむ」

第15回全国集会へ向けてのプレ企画第1段

「東京・地域ケア構想」について

日時：2008年2月3日(日) 午後から
 会場：全理連ビル
 参加費など詳細は未定
 東京都職員から報告を受ける予定です。

共に介護を学びあい
 励まし合いネットワーク

〒142-0063
 東京都品川区荏原1-24-23 角田アパート 1F
 Tel・Fax : 03-3787-3117
 編集責任者：藤原るか

CLA だより 第3号 07/11/10

発行：共に介護を学びあい・励まし合いネットワーク



30年ぶりに開催された「南部うた声祭典」(10/16)に「日頃の思いを歌にしよう♪ アピールしよう♪」の合い言葉で「寸劇」と「替え歌」で参加しました。(写真)

替え歌「手のひらに太陽を」は左に掲載しています。劇は、打ち合わせるたびに内容は膨らむのですが、7分の時間厳守!

96歳の方にもテープで登場してもらうなど、最後まで苦心惨憺(くしんさんたん)。

しかし、当日は日々の仕事で磨いている「その場の柔軟な対応」が実を結んだ舞台となりました。

2時に来て4時に帰るなど超特急の参加や障害当事者の方も入れて総勢28名。

今後も、福祉・医療現場の厳しい制度改正が予定されていますが、「人間らしく生きる」を大切にして、現場の舞台に立ち続けたいと思います。

参加者のみなさんお疲れ様でした!

(実行委員 藤原)

手のひらに太陽を

♪ 108 ~ 120

♪ 108 ~ 120

1 ヘルパーはみんな あまごころ 思っていて ありがとう
 2 ヘルパーはみんな 命懸けで 頑張っている ありがとう
 3 ヘルパーはみんな 生きていて 生きていてから ありがとう

4 ヘルパーはみんな 優しく 優しく 優しく 優しく
 5 ヘルパーはみんな 優しく 優しく 優しく 優しく
 6 ヘルパーはみんな 優しく 優しく 優しく 優しく
 7 ヘルパーはみんな 優しく 優しく 優しく 優しく
 8 ヘルパーはみんな 優しく 優しく 優しく 優しく
 9 ヘルパーはみんな 優しく 優しく 優しく 優しく
 10 ヘルパーはみんな 優しく 優しく 優しく 優しく

「高齢者の生活実態と高齢者ケアのあり方」 ～ひとり暮らし高齢者調査の結果を通じて～

講師：河合 克義 先生（明治学院大学）

副学長になられてお忙しい中、ヘルパーのためにおこし頂いての講演でした。

高齢者ケアのあり方やフランス・ドイツなどの国際比較も交えて分かり易くお話し頂きました。

訪問の中では「地域で暮らし続けること」は頭に置きながらも、個別の生活援助をしているヘルパーの現場ですが、先生の調査・統計から見えてきている「一人暮らし」の実際は色々と考えさせられる課題があり有意義な学習会でした。

以下2回に分けてお伝えします。（当日のレジメをご希望の方は事務局までご連絡下さい。実費にてお分けいたします。14Pあります。）

＜調査から見える地域の実態＞

一人暮らし高齢者の社会的孤立に関する調査として実施されているとのことでした。2000年の国勢調査では全自治体別の一人暮らし高齢者の出現率で、一番高いところは東京都の離島「御蔵島」で53.7%。全国的に見て多く出現する地域特徴も紹介され、第1位は島、第2位は過疎地、（鹿児島・山口・島根等）第3位は大都市の中心部（大阪市西成区・東京豊島区）との事です。

先生は中でも港区への調査を1955年と2004年に実施。2006年には横浜市鶴見区で実施されて分析されています。

先生は分析の中で孤立している状態として1.近所づきあい「あまりなし」、2.緊急時の支援者「なし」、3.お正月三が日「一人で過ごした」の指標をあげられ、それぞれの実態について報告されました。

1. 近所づきあい「あまりなし」

港区 42.6%、鶴見区 40.0%（前期高齢者 45.7%、後期高齢者 31.2%）

長野県・高遠町 7.2%、沖縄県・読谷村（不明）

2. 緊急時の支援者「なし」

港区 15.9%、鶴見区 27.5%（前期高齢者 34.3%、後期高齢者 16.8%）

長野県・高遠町 11.4%、沖縄県・読谷村 7.9%

3. お正月三が日「ひとりで過ごした」

港区 35.1%、鶴見区 37.4%（前期高齢者 39.6%、後

期高齢者 34.0%）

長野県・高遠町 24.8%、沖縄県・読谷村 14.3%

＜社会福祉制度の変遷＞

めまぐるしく変わる制度の様子を「社会保険（介護保険含む）と社会福祉について」ヘルパーの身近な「配食サービス制度の変遷」から詳しくお話し頂きました。

1997年に国の補助が2/3、実績に応じた補助事業「在宅高齢者等日常生活支援事業」としてあった。

1998年に補助率は同じであるが「高齢者在宅支援事業」となり地域の高齢者人口に応じてとなったため、東和町など365日の配食サービスを実施していた所などは、補助額が激減する問題が起きた。

1999年には「在宅高齢者保健福祉推進支援事業」となり国の補助率が1/2に下がり、介護保険制度スタートに合わせた形で、福祉サービスが再編の1つとなった。

2000年には「介護予防生活支援事業」となり2004年には「介護予防地域支え合い事業」となり、権利としての社会福祉が地域支え合いという相互扶助となった。

2006年の介護保険改定で「地域支援事業」に再編成され、社会福祉サービスから社会保険サービスとなった。地域支援事業費は介護保険給付の3%以内という枠が設けられている。

第1号保険料は65歳以上の高齢者が負担する事になっているので、地域支援事業のサービスは保険料に跳ね返ることになる。その為保険料があまり高くなるとは困るので給付金は3%以内でやることになっているが、介護予防に限定されてしまう問題点を指摘されていました。

（続きは次号で）



あなたも一緒にませんか？

世界のヘルパーさんと出会う旅パート6



○日程：2007年12月4日（火）～12月13日（木）

○行き先1

イタリア・ローマ市のヘルパー 1000 時間養成・研修の視察と労働環境について現地ヘルパーさんとの交流（2002年に訪問したミッション系の協同組合運営事業所に再訪問）

○通訳

佐藤 みつこ さん（現地大学院生）2002年にもお世話になった。

○目的

- ・イタリア・ローマ市におけるホームヘルプの社会的地位や専門性（養成研修）について現地調査と意見交換を行う。
- ・2010年に開催を予定している「世界ヘルパーサミット」への参加 についても打診してゆく。
- ・イタリアの食文化！に触れながらホームヘルプ制度や在宅福祉の現状等について学ぶ。

○行き先2

ドイツ・デュスブルグ市とボン市のヘルパーさんとの交流（ドイツビールで乾杯!!）

○通訳

林 さん（藤原友人の紹介で現地に住む日本人・福祉大学卒）

彼氏のリーさんがALSという診断で、在宅介護をうけている介護者の方です。

現在24時間の介護体制（無料）。介護会社が外出などについて理解がないということで現在、弁護士を入れて調整中とのこと。

○目的

- ・ドイツ・ノルトランベストファレン州の介護の現状視察と働くヘルパーさん達と労働環境や社会的地位向上へ向けた取り組み等の交流。
- ・厚労省はドイツ型をめざすと云う。ドイツ介護保険実態の視察

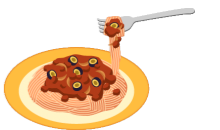
★宿はB & B 使用です。1泊朝食付きで4000円位のクラスです。

★通訳料は約2万円ずつの負担。総額22万以内で企画中。

★参加は出来ないけれど「こんな事を聞いてきて欲しい」という要望を受付中。

FAXにて03-3787-3117へお気軽にお寄せ下さい!!

★申し込みは11月20日までにご連絡ください。



※「何とかしてゆかないと」は今号はお休みします。次号、「同居家族のいる世帯の家事援助問題」を予定しています。

ご意見や実態を募集します。年内にお寄せ下さい!!